



# 棒の手保存会

～次世代を担う保存会員の声～

さいしょママにやりやーといわれてやりました。わざのれんしゅうをしているときは楽しかったです。おかしがいっぱいもらったことがうれしかったです。

小学生 M さん（1 年目）

始めたきっかけは、友達がやっていたので体験してみてもよかったので始めました。友達がたくさん出来たこと、棒の手に関われたことがよかったです。

小学生 K さん（3 年目）

練習の時、みんなが大きな声を出していたので、ぼくも大きな声で練習が出来ました。人前で大きな声であいさつなどができるようになりました。

小学生 F さん（3 年目）

練習の時は、覚えるのが大変だったけど、毎日夜みんなと集まることが楽しかったです。発表の時は、つかれたけどうまいうれしかったです。

小学生 H さん（4 年目）

おじいちゃんが長いこと、棒の手をやっていて小さいころから見えました。おじいちゃんがなくなる前にぼくの棒の手の姿を見てもらいたいと思い始めました。

小学生 I さん（4 年目）

ちょっと恥ずかしかったけど遠くから親戚や友達が見に来てくれてお金やお菓子をたくさん投げつけてくれて嬉しかった。近所の人からももらえて嬉しかった。

小学生 N さん（5 年目）

地域のことや日本の伝統をよく知ることができます。そして知り合いが増えてコミュニケーション力が上がって棒の手を覚えるのと一石二鳥なのでよかったと思いました。

小学生 M さん（6 年目）

特徴的な衣装で棒を振り回すのが格好良く見えてはじめました！棒の手は型の伝承だけでなく人と人地域との繋がりで心まで繋がっていると思います。

M さん（10 年目）

練習後には毎回お菓子がもらえてモチベーションにつながっていました。多くのハナが投げられ家族からも褒めてもらうことでまた来年もやろうという気になります！

U さん（10 年目）

他の地域から来た人や外国の方々に胸を張って紹介できる文化がこの尾張旭市に存在しているのは素晴らしいと思います。文化に携わる一員として大変誇らしいです。

T さん（11 年目）

親に勧められた事と衣装が格好良かったので始めました。練習は厳しかったけれど学年が上がっていくにつれて出来る型が増えて槍や鎌などの新しい道具も使えるようになりました。

I さん（12 年目）

古くからの伝統はどんなことがあっても絶やしてはいけない。僕が生きているうちに少しでも多くの人に伝えていきたい。

H さん（13 年目）